

R6 首都圏道路交通流動・影響分析業務

報告書

令和 7 年 7 月
一般財団法人 計量計画研究所

R6 首都圏道路交通流動・影響分析業務

目 次

第 1 章 はじめに	1-1
1.1 業務概要	1-2
1.1.1 業務の目的	1-2
1.1.2 業務概要	1-2
1.2 実施方針	1-3
1.2.1 業務フロー	1-3
1.2.2 業務内容	1-4
第 2 章 首都圏道路交通流動及び、整備効果分析	2-1
2.1 分析方針	2-2
2.2 都心部・首都圏域の物流網や観光周遊等に関する交通流動分析	2-3
2.2.1 主要断面の交通量、大型車混入率等の変化	2-3
2.2.2 主要 IC 間の走行経路・分担率の変化	2-86
2.2.3 特定 IC 関連の OD 交通量の変化（地域間流動の変化）	2-91
2.2.4 観光地関連の流動分析	2-97
2.2.5 首都圏 3 環状道路周辺の物流施設立地状況分析	2-103
2.2.6 各種統計データの整理	2-106
2.2.7 首都圏 3 環状道路の概成と IC 時間圏域の変化	2-124
2.2.8 分析結果のまとめ	2-127
2.3 京浜三港・羽田空港周辺における大型貨物車の交通流動分析	2-129
2.3.1 概要	2-129
2.3.2 走行経路の分析結果	2-130
2.3.3 発着地域別の特定路線経由割合	2-135
2.4 首都圏の主要拠点間の所要時間に関する分析	2-140
2.4.1 概要	2-140
2.4.2 分析結果	2-141
2.5 首都圏の高規格道路及び並行一般道の交通流動分析	2-143
2.5.1 首都圏における主要路線のサービスレベル	2-143
2.5.2 主要断面通過車両の走行経路	2-159
2.5.3 主要断面通過車両のトリップ長分布	2-174

第3章 新たな道路による交通流動変化及び、交通量推計による分析	3-1
3.1 分析概要	3-2
3.1.1 分析目的	3-2
3.1.2 交通量推計の条件設定	3-2
3.1.3 現況再現性の確認	3-91
3.2 将来道路ネットワークの作成	3-101
3.2.1 事業化ネットワークに追加する路線	3-101
3.2.2 追加路線の設定	3-102
3.3 将来交通量推計による分析	3-119
3.3.1 分析ケースの設定	3-119
3.3.2 路線別平均交通量	3-121
3.3.3 断面交通量	3-122
3.3.4 推計ケース間の交通量比較	3-148
3.4 拠点間のアクセス性指標の確認	3-179
3.4.1 分析の設定	3-179
3.4.2 主要拠点間所要時間の比較	3-181
3.4.3 主要拠点間のサービスレベルの比較	3-185
3.4.4 まとめ	3-199
第4章 分析結果とりまとめ概要資料の作成	4-1
4.1 都心部・首都圏域の物流網や観光周遊等に関する交通流動分析	4-2
4.2 羽田空港・京浜三港周辺における大型貨物車の交通流動分析	4-3
4.3 首都圏の高規格道路のサービスレベルに関する分析	4-4
4.4 新たな道路による交通流動変化及び、交通量推計による分析	4-5
第5章 今後の課題	5-1

第1章 はじめに

1.1 業務概要

1.1.1 業務の目的

本業務は、首都圏3環状道路を始めとする首都圏域の交通流動や道路整備等による効果を分析した上で、各種交通施策や社会情勢の変化を考慮し、新たな道路や交通施策による交通流動の変化や期待される影響について分析を行うものである。

1.1.2 業務概要

- (1) 業務名：R6 首都圏道路交通流動・影響分析業務
- (2) 工期：令和6年8月24日から令和7年7月31日まで
- (3) 請負金額：18,997,000円（税込）
- (4) 発注者：国土交通省 関東地方整備局 計画調整課
- (5) 受注者：一般財団法人 計量計画研究所
- (6) 業務項目：
 1. 計画準備
 2. 首都圏道路交通流動及び、整備効果分析
 3. 新たな道路による交通流動変化及び、交通量推計による分析
 4. 分析結果とりまとめ概要資料の作成
 5. 報告書作成

1.2 実施方針

1.2.1 業務フロー

本業務は、首都圏3環状道路を始めとする首都圏域の交通流動や道路整備等による効果を分析した上で、各種交通施策や社会情勢の変化を考慮し、新たな道路や交通施策による交通流動の変化や期待される影響を分析するものである。

業務は、以下のフローにしたがって、実施した。

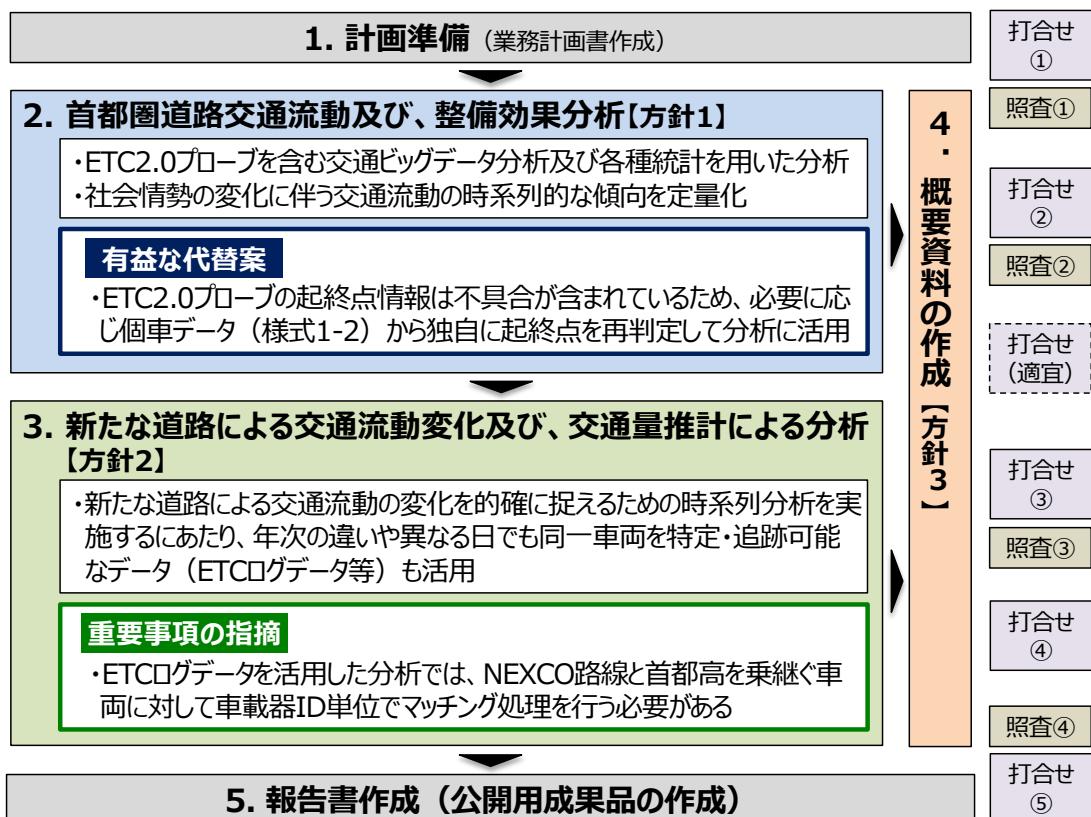


図 1-1 業務フロー

1.2.2 業務内容

(1) 計画準備

受注者は、業務の目的・主旨を把握した上で、設計図書に示す業務内容を確認し、共通仕様書第1112条第2項に示す事項について業務計画書を作成し、調査職員に提出するものとする。

(2) 首都圏道路交通流動及び、整備効果分析

首都圏3環状道路を始めとする都心部及び首都圏域の道路について、交通流動の調査、分析を行う。

調査、分析にあたっては、ETC2.0プローブデータを含むビッグデータの各種交通データを用いて分析を行い、交通施策等による交通流動の変化を把握する。

また、道路整備等による効果として、地域に与える効果を経済統計や税収等の各種統計等から把握する。

なお、調査、分析に必要となるデータのうち、ETC2.0プローブデータを貸与するものとし、その他必要な交通データについてはトラカンデータ、道路ネットワークデータ等とする。

(3) 新たな道路による交通流動変化及び、交通量推計による分析

新たな道路や交通施策による交通流動の変化や期待される影響について分析する。

分析にあたっては、調査中及び構想路線を含む首都圏広域道路ネットワークを踏まえた首都圏3環状道路周辺の地域において、交通流動の変化や期待される影響について交通量推計をはじめとする各種データから分析する。

(4) 概要資料の作成

上記(2)及び(3)で分析・検討した結果をとりまとめ、概要資料の作成を行う。

(5) 報告書作成

業務の成果として、共通仕様書第1210条調査業務及び計画業務の成果に準じて報告書を作成する。